

なお、修正なしと判断したその他の意見や地区別市民懇談会の意見等は別紙のとおりです。

該当箇所	主な産業の状況	頁	6
意見	農業が基幹産業でなくなっているという意味にとらえられる記載だが、P26 の大綱の中では基幹産業となっており、整合がとれていない。就業人口が変化しても農業は基幹産業であり、修正すべきである。また、高齢化や農産物価格の低迷により担い手が減少しているのではなく、農産物価格が低迷し、担い手が減少し、その担い手も高齢化しているという流れである。（議員）		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
（修正前） 本市の産業は、昭和 40 年頃までは、肥沃な土壌を背景に稲作をはじめとする農業が<u>基幹産業の中心</u>となっていました、<u>高齢化や農産物価格の低迷</u>などにより担い手が減少し、非鉄金属、繊維、電子部品などの製造業（ものづくり産業）の就業人口が増加してきました。		（修正後） 本市の産業は、昭和 40 年頃までは、肥沃な土壌を背景に稲作をはじめとする農業が<u>就業人口の半数以上を占めていましたが、農産物価格の低迷などにより担い手の減少が進み</u>、非鉄金属、繊維、電子部品などの製造業（ものづくり産業）の就業人口が増加してきました。	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	参考資料	頁	8
意見	商品販売額について、調査年度の間隔に合わせてグラフを修正すべきである。(議員)		
対応	意見のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
グラフのため省略。			

該当箇所	人口動態	頁	11
意見	年号の記載を整理してはどうか。(和暦、西暦)(議員)		
対応	過去については和暦、未来については西暦を基本とし、本文中の該当箇所を西暦(和暦)とする。		
(修正前)		(修正後)	
平成27年9月に策定した「喜多方市長期人口ビジョン」では、本市独自の将来人口の基準モデル※を設定しており、平成22(2010)年に52,356人であった人口が、平成52(2040)年には33,406人、平成72(2060)年には22,225人になると推測されています。		平成27年9月に策定した「喜多方市長期人口ビジョン」では、本市独自の将来人口の基準モデル※を設定しており、2010(平成22)年に52,356人であった人口が、2040(平成52)年には33,406人、2060(平成72)年には22,225人になると推測されています。	
今後は更なる雇用の創出や結婚・子育て支援、人材育成などの施策を展開することで、2040年_____で37,000人以上、2060_____年で30,000人以上の人口を確保します。		今後は更なる雇用の創出や結婚・子育て支援、人材育成などの施策を展開することで、2040(平成52)年で37,000人以上、2060(平成72)年で30,000人以上の人口を確保します。	

該当箇所	時代の潮流から見た基本的課題	頁	19
意見	(3)で「安全安心」は中点を入れて「安全・安心」で統一するのが適当ではないか。以後、複数個所に混在している。(岩本委員)		
対応	該当箇所すべてについて「安全・安心」で統一する。		
(修正前)		(修正後)	
省略。			

該当箇所	時代の潮流から見た基本的課題	頁	19
意見	(3)の外国人犯罪について、本市にはあまり当てはまらないので、いらぬのではないかな。外国人への差別と捉えられないか。(岩本委員)		
対応	意見のとおり削除する。		
(修正前)		(修正後)	
また、児童生徒や高齢者などの弱者を狙った犯罪や詐欺事件、外国人犯罪など、様々な犯罪や事件が発生しており、市民の安全・安心に対する関心もこれまで以上に高くなっています。		また、児童生徒や高齢者などの弱者を狙った犯罪や詐欺事件など、_____様々な犯罪や事件が発生しており、市民の安全・安心に対する関心もこれまで以上に高くなっています。	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	時代の潮流から見た基本的課題（８）（９）	頁	21
意見	（８）本文中「地域経営」、（９）自治体経営の推進としているが、P94 計画の実現に向けてでは行政運営や財政運営としており、統一が必要ではないか。（議員）		
対応	（８）については、市民主体により地域経営を考えるのは市民であることから表現を修正。 （９）については、経営を運営に修正する。		
（修正前） （８）市民参画と協働の推進 本市においては、持続可能な地域社会の構築を図るためにも、市民一人一人の知恵と力を結集する市民参画や行政と市民が互いに地域経営を考える協働の取組を図っていくことがこれまで以上に求められています。 （９）地方分権の進展と特色ある自治体経営の推進		（修正後） （８）市民参画と協働の推進 本市においては、持続可能な地域社会の構築を図るためにも、市民一人一人の知恵と力を結集する市民参画や市民と行政の協働の取組を図っていくことがこれまで以上に求められています。 （９）地方分権の進展と特色ある自治体運営の推進	

該当箇所	将来の都市像	頁	24
意見	「東京電力福島第一原子力発電所事故の困難を・・・乗り越えてきたところです。」の記載は、過去形ではなく、現在も行っているように記載するべきと思う。（議員）		
対応	意見のとおり修正する。		
（修正前） この間、リーマンショックや東京電力福島第一原子力発電所事故の困難を市民と行政が一丸となって乗り越えてきたところです。		（修正後） この間、リーマンショックや東京電力福島第一原子力発電所事故の困難を市民と行政が一丸となって乗り越えてきています。	

該当箇所	将来の都市像	頁	24
意見	『力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適都市』の「都市」は、都会のイメージが強く、本市に馴染まないのではないか。「安心・快適なまち」とするのはどうか。（岩本委員）		
対応	『力強い産業 人が輝く 活力満ちる安心・快適なまち』とする。		
（修正前） 省略。		（修正後）	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	施策展開の基本的な考え方	頁	25
意見	協働によるまちづくりについて、市民主体の観点から、行政が市民をサポートするように表現を工夫してはどうか。(議員)		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
○協働によるまちづくり 市民主体の理念と市民は行政の大切なパートナーであるという考えを踏まえ、市民のニーズを的確に捉えるとともに、市民と行政がそれぞれの役割を担いながら、協働によるまちづくりに努めます。		○協働によるまちづくり まちづくりの主体は市民であるという理念のもと、行政は市民の大切なパートナーとして、市民のニーズを的確に捉えるとともに、市民と行政がそれぞれの役割を担いながら、協働によるまちづくりに努めます。	

該当箇所	体系図	頁	29
意見	商業の目標にある「あきない」は平仮名だと他の意味と誤解されないか。漢字の方がよいのでは。(武藤委員)		
対応	喜多方市商業振興ビジョンにおいて「あきないのまち喜多方」を掲げていることから、平仮名の表記とする。その上で、他の意味と混同しないよう「あきない」と強調する。		
(修正前)		(修正後)	
省略。			

当箇所	基本構想・基本計画全体	頁	－
意見	基本計画も含めて、ＩＣＴなど横文字が多い。市民が読んで分かりやすいよう、日本語で標記した方がよいのではないか。（武藤委員）		
対応	注釈を充実させることで対応する。		
(修正後)			
下記について注釈を追加。			
P 4	ローリング方式	P 43	ＵＩＪターン
P 6	リーマンショック	P 44	ワーク・ライフ・バランス
P 8	商業統計調査（調査年について）	P 47	Wi-Fi
P 19	ボーダレス化	P 56	ライフステージ
P 20	再生可能エネルギー	P 71	V-Low マルチメディア放送
P 21	N P O	P 76	ユニバーサルデザイン
P 22	認定こども園	P 77	ユビキタスネットワーク社会
P 34	6次産業化	P 94	パブリックコメント制度
P 35	エコファーマー	P 95	指定管理者制度

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	農林業	頁	34
意見	現状と課題の米政策の転換点について、年度（いつ時点）を入れるなど内容を詳しくし、読む人が分かりやすくすべき。（五十嵐委員）		
対応	「平成30年度には」を追加する。		
（修正前） さらには、_____米政策が大きな転換点を迎えるなど、わが国の農業にとって大きな影響が懸念されています。		（修正後） さらには、 <u>平成30年度には</u> 米政策が大きな転換点を迎えるなど、わが国の農業にとって大きな影響が懸念されています。	

該当箇所	農林業	頁	34
意見	現状と課題の有害鳥獣について、被害は中山間地域に限ったものでないので、表現を修正すべきではないか。（五十嵐委員）		
対応	「中山間地域を中心に」とし表現を修正する。		
（修正前） 有害鳥獣や病害虫への対策については、 <u>有害鳥獣による中山間地域での</u> _____人的被害や農作物被害、スギの皮剥被害、病害虫による森林被害などが発生しており、		（修正後） 有害鳥獣や病害虫への対策については、 <u>中山間地域を中心に有害鳥獣による</u> 人的被害や農作物被害、スギの皮剥被害、病害虫による森林被害などが発生しており、	

該当箇所	農林業	頁	37										
意見	「人・農地プラン」「多面的機能交付金」「農地中間管理機構」等の施策は、“遊休農地”の発生や増加を防ぐ重要な事業でもあり、指標として挙げるよう再考願う。（岩本委員）												
対応	「多面的機能支払交付金活動組織数」について指標化する。												
（修正前）		（修正後）											
		<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標名</th><th rowspan="2">現状値</th><th colspan="2">目標値</th></tr> <tr> <th>平成33年度</th><th>平成38年度</th></tr> <tr> <td>多面的機能支払交付金活動組織数</td><td>91 組織 (H27 年度)</td><td>113 組織 (累計)</td><td>128 組織 (累計)</td></tr> </table>		指標名	現状値	目標値		平成33年度	平成38年度	多面的機能支払交付金活動組織数	91 組織 (H27 年度)	113 組織 (累計)	128 組織 (累計)
指標名	現状値	目標値											
		平成33年度	平成38年度										
多面的機能支払交付金活動組織数	91 組織 (H27 年度)	113 組織 (累計)	128 組織 (累計)										

該当箇所	観光	頁	46
意見	施策（1）の4つ目、「旧甲斐家住宅を観光拠点施設として」の施設はいらないのではないか。（和知委員※木村委員代理）		
対応	意見のとおり修正する。		
（修正前） ・ 旧甲斐家住宅を観光拠点施設として整備し、		（修正後） ・ 旧甲斐家住宅を観光拠点_____として整備し、	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	学校教育	頁	50
意見	現状と課題の17行目は、「これ」ではなく「これら」ではないか。(岩本委員)		
対応	意見のとおり修正する。		
(修正前) 具体的には、・・・と捉え、これ__を育成するため、 次の7つの施策に取り組みます。		(修正後) 具体的には、・・・と捉え、これ <u>ら</u> を育成するため、 次の7つの施策に取り組みます。	

該当箇所	学校教育	頁	51
意見	施策(3)の4つ目、同じ文の中で「育まれた、・・・育みます」となっている。 育む、育てる、培う、醸成する、育成するは言葉の使い分けがあるので、吟味が必要と思われる。(岩本委員)		
対応	後半を「創造性を培います。」に修正する。		
(修正前) ・ 発明、発見、ものづくりなど様々な体験活動を通して育まれた、__子どもの知識や気づき、興味等を活かし__創造性を <u>育みます</u> 。		(修正後) ・ 発明、発見、ものづくりなど様々な体験活動を通して育まれた__子どもの知識や気づき、興味等を活かし、創造性を <u>培います</u> 。	

該当箇所	学校教育	頁	53
意見	指標の全国学力・学習状況調査について、5年後に「やや上回る」とはならないか。(計画なのだから夢を持って努力していくという意味でも。)(武藤委員)		
対応	意見を踏まえ、「やや上回る」に上方修正する。		
(修正前) 省略。		(修正後)	

該当箇所	男女共同参画	頁	60
意見	現状と課題の4段落目「男女が互いの違いを認めつつ」はあえて入れる必要はないのではないか。表現の検討が必要。(板橋委員)		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
(修正前) 本市においては、 <u>男女が互いの違いを認めつつ</u> 、社会の対等な構成員として・・・		(修正後) 本市においては、 <u>男女が互いを尊重しつつ</u> 、社会の対等な構成員として・・・	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	保健・医療・介護・福祉	頁	69
意見	施策の順番で、(7) 障がい者、(8) 生活困窮者、(9) 福祉関係団体、(10) ひとり親となっており、間に団体が入っているので、順番を考えたほうがよい。(坂内委員)		
対応	下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
(9) <u>福祉関係団体等への支援</u>		(9) <u>ひとり親家庭に対する支援</u>	
(10) <u>ひとり親家庭に対する支援</u>		(10) <u>福祉関係団体等への支援</u>	

該当箇所	保健・医療・介護・福祉	頁	69
意見	生活困窮者やひとり親についての施策をもっと書き込めないか。(武藤委員)		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
(8) 生活困窮世帯への支援		(8) 生活困窮世帯への支援	
・ 生活困窮者自立支援制度に基づく <u>各種事業の充実に</u> 努めます。		・ 生活困窮者自立支援制度に基づく <u>必須事業の取組とあわせて各種任意事業の取組に</u> 努めます。	
(9) ひとり親家庭に対する支援		(9) ひとり親家庭に対する支援	
・ ひとり親家庭への支援の —— 充実を図ります。		・ ひとり親家庭に対する各種手当の支給や相談体制の <u>充実</u> を図ります。	

該当箇所	生活環境・自然環境・景観	頁	89
意見	施策(4)について、「そ族」は一般の方が見て意味がわかるか。また、「昆虫」は、すべての昆虫が対象ではないので、表現の仕方を考えるべきである。(峯岸委員、坂内委員)		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
(4) <u>そ族、昆虫</u> の駆除・防除		(4) <u>害を及ぼす小動物や害虫</u> の駆除・防除	
・ <u>そ族、昆虫による</u> 生活衛生の悪化を防ぐため、行政区と協働で駆除・防除に努めます。		・ <u>害を及ぼすねずみなどの小動物や害虫による</u> 生活衛生の悪化を防ぐため、行政区と協働で駆除・防除に努めます。	

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	生活環境・自然環境・景観	頁	89
意見	指標「河川のBOD」について現状値が良いのか悪いのか基準が分からない。(小林委員)		
対応	意見を踏まえ、BODの注釈を下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
※ BOD とは、水中の有機物が微生物の働きによって分解されたときに消費される酸素の量であり、河川の有機汚濁の程度を示す代表的な指標のことです。 <u>BODの数値が高いほど有機物が多く、水質汚濁が進んでいる状態となります。</u>		※ BOD とは、水中の有機物が微生物の働きによって分解されたときに消費される酸素の量であり、河川の有機汚濁の程度を示す代表的な指標のことです。 <u>基準はAA～Eまでであり、Eが最も汚い水となります。現状値はAに属しており、目標値を最もきれいなAAに設定しています。</u>	

該当箇所	計画の実現に向けて	頁	94
意見	(3) 市民の意見・意向の把握は、各種団体との意見交換や市民懇談会など積極的な姿勢が必要である。(坂内委員)		
対応	意見を踏まえ、下記のとおり修正する。		
(修正前)		(修正後)	
審議会等や事務事業への市民参画を促進するとともに、パブリックコメント制度、アンケート調査_____などにより、市民の意見・意向を施策展開に反映していきます。		審議会等や事務事業への市民参画を促進するとともに、パブリックコメント制度やアンケート調査、市民懇談会などにより、市民の意見・意向を施策展開に反映していきます。	

該当箇所	基本計画（指標）	頁	—																				
意見	指標について単年か累計かが分かりにくい。(地区別市民懇談会)																						
対応	累計のものについては目標値の下に（累計）と表示する。																						
(修正前)		(修正後)																					
(例)		(例)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th><th rowspan="2">現状値</th><th colspan="2">目標値</th></tr> <tr> <th>平成33年度</th><th>平成38年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業者数</td><td>25 人 (H27 年度)</td><td>63 人 _____</td><td>103 人 _____</td></tr> </tbody> </table>		指標名	現状値	目標値		平成33年度	平成38年度	創業者数	25 人 (H27 年度)	63 人 _____	103 人 _____	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th><th rowspan="2">現状値</th><th colspan="2">目標値</th></tr> <tr> <th>平成33年度</th><th>平成38年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業者数</td><td>25 人 (H27 年度)</td><td>63 人 (累計)</td><td>103 人 (累計)</td></tr> </tbody> </table>		指標名	現状値	目標値		平成33年度	平成38年度	創業者数	25 人 (H27 年度)	63 人 (累計)	103 人 (累計)
指標名	現状値			目標値																			
		平成33年度	平成38年度																				
創業者数	25 人 (H27 年度)	63 人 _____	103 人 _____																				
指標名	現状値	目標値																					
		平成33年度	平成38年度																				
創業者数	25 人 (H27 年度)	63 人 (累計)	103 人 (累計)																				

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

事務局での修正

該当箇所	施策展開の基本的な考え方	頁	25
修正内容	基本的な考え方と各施策および将来都市像との関係性についてのイメージ図を追加。		
(修正前)		(修正後)	
図のため省略。			

該当箇所	生涯学習	頁	57
修正内容	教育振興基本計画との整合性を図り、指標を修正する。		
(修正前)		(修正後)	
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
市立図書館利用者数	31,400 人 (H27 年度)	32,000 人	33,000 人
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
市立図書館の 図書貸出し冊数	133,273 冊 (H27 年度)	135,000 冊 (累計)	138,000 冊 (累計)

該当箇所	歴史・文化	頁	59
修正内容	数値の記載誤りの訂正。		
(修正前)		(修正後)	
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
喜多方市美術館 入館者数	14,000 人 (H27 年度)	15,000 人	16,000 人
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
喜多方市美術館 入館者数	13,629 人 (H27 年度)	15,000 人	16,000 人

該当箇所	消防・防災	頁	73
修正内容	指標「火災発生件数」について、最新値が確定したため修正。また、年単位（1月～12月）の集計であったため、現状値の平成28年度表記を平成28年に修正。P75指標の「交通事故による死傷者数」、「刑法発生件数」についても同様に平成28年度表記を平成28年に修正。		
(修正前)		(修正後)	
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
火災発生件数	30 件(推計) (H28 年度)	25 件	20 件
指標名	現状値	目標値	
		平成33年度	平成38年度
火災発生件数	31 件 (H28 年__)	25 件	20 件

第4回、第5回基本計画審議会以降の修正

該当箇所	移住・定住			頁	85				
修正内容	指標「本市への移住件数」について、現状値を更新。これに合わせ目標値についても修正。								
(修正前)				(修正後)					
指標名		現状値	目標値		指標名		現状値	目標値	
			平成33年度	平成38年度				平成33年度	平成38年度
本市への移住件数		6世帯 (H28年度)	56世帯	106世帯	本市への移住件数		7世帯 (暫定) (H28年度)	57世帯 (累計)	107世帯 (累計)